



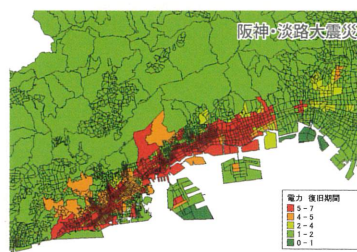
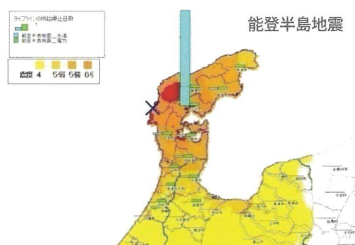
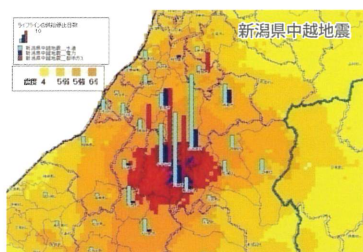
3. リスクを面で捉える②

ライフラインの支障日数を予測します

建物や施設の機能を維持するライフラインの震災時における停止期間の予測は、施設の立地選定や仕様を合理的に定める上でも重要な情報となります。鹿島は、計画の進捗度に応じ、簡易から詳細レベルでライフライン支障日数予測結果を提供します。

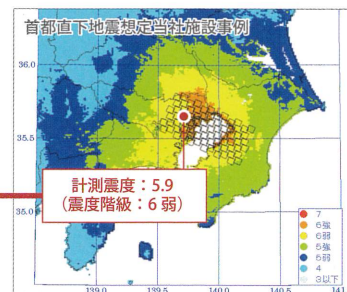
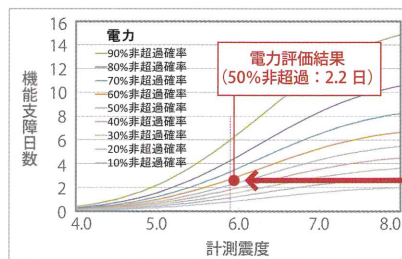
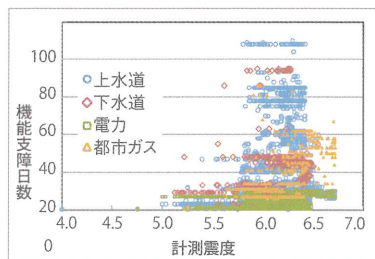
簡易予測システム

これまでの7つの大地震におけるポイント震度とユーティリティ支障日数の関係を調査・定式化



統計的に処理・モデル化

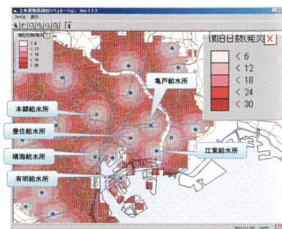
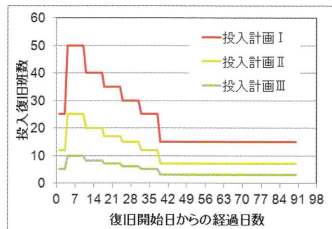
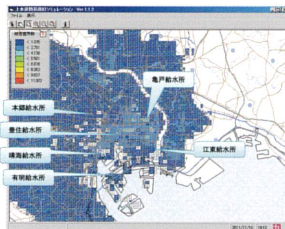
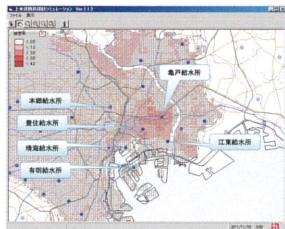
任意の地点での想定地震における計測震度予測値から、ライフライン種毎に瞬時に支障日数が予測可能



管路メッシュ単位予測システム

区域メッシュ単位の管路延長密度と管径データ、震度分布・液状化予測から被害率・被害件数を推計

自治体復旧班の投入計画パターンからメッシュ単位で復旧日数を予測



管路詳細追跡型予測システム

任意ポイントへの実際のライフライン供給ルートを詳細調査。ルート全体の地形・地震動・液状化危険度を考慮して、支障日数を予測します。

